



居木神社を紹介します

創建の年代は明らかではありませんが、記録によると、住古鎮座の地は、現在の山手通り居木橋付近に位置していたようです。

当時は、「雉子の宮」と称されて、江戸時代の初期に目黒川の氾濫を避け、現在の地に移されました。そして、明治5年に「居木神社」と改められました。

現在の社殿は昭和53年に再建され、芳水小学校校歌にもある「ときわなる居木の森」高台地に拝するに至っています。

境内末社の巖島神社は品川区指定有形文化財に指定されています。また、拝殿前の石段の横手には、溶岩石による富士塚があり、しながわ百景に選定されています。

一度、じっくりご覧になってはいかがでしょうか。



○春・夏の主な行事です。



第24回お花見大会(4月2日:居木神社境内)



皆様のご協力によるアルミ缶・古紙・布の資源回収の収益金を活用してお花見大会を今年も開催します・焼きそば・トン汁・フランクフルト・飲み物などを用意しています。なかでも焼きそば・トン汁は絶品ですよ!

ご家族連れで、多くの皆様のお越しをお待ちしています。



桜の季節です。ひふみ町会界限には、居木神社をはじめ、峰原坂、目黒川などの見どころがあります。特に目黒川の川面にしだれる桜は近年多くの人々で賑わっています。更にチョット足をのぼすと、戸越公園、文庫の森、更に、かむろ坂、林試の森公園など、桜と緑の名所があります。散歩をかねて一度訪れてみてはどうでしょうか。

行事名	月 日	内 容
春の交通安全運動	4月6日~15日	子供たちへの声掛けなどの活動を行っています。
夏休みラジオ体操会	7月	今年は、居木神社境内で行います。
納涼祭	7月	盆踊り・各町会等の模擬店など、夏の名物イベントです。
区民祭り	7月	大崎第二地区地域の交流と親睦を深めるイベントです。
居木神社お祭り	8月	居木神社の例大祭です。昨年から様々なお店が出ています。
総合防災訓練	9月	救命救助・消火訓練など、貴重な体験ができます。
秋の交通安全運動	10月	子供たちへの声掛けなどの活動を行っています。

詳しくは、回覧板や町会掲示板でお知らせします。

※ 毎月2回行っている「資源回収事業」にご協力をお願いいたします。

○写真で見る思いで



左上の写真は、居木神社四町会の子供神輿が神社に集まったときの写真です。境内が子供からお年寄りまで埋め尽くされています。

下段真ん中は、大崎中学校で行われた総合防災訓練の写真です。小型消防ポンプの訓練ですが、一二三町会ほどの消火隊かわかりますか。

○災害への備え「住宅防火 10 の心得」

○歴史を紹介します(NO3 : 大崎駅)

大崎駅は、明治 34 年に日本鉄道品川線の駅として開業しました。以来ずっと山手線の駅の中でも 1、2 を争う地味な駅と言われていましたが、平成 14 年にりんかい線が開業すると一変し、湘南新宿ラインも停車するターミナル駅となりました。近年ではシンクパークをはじめ「大崎副都心」と呼ばれるほど周囲も発展しています。それに伴い駅の乗車人員（降車客含まず）は、平成 13 年度には 5 万 7,069 人だったものが平成 27 年度には 15 万 4,544 人となり、JR 東日本の駅で 17 番目にランクされています。さて、五反田駅と比較してどっちが多いでしょうか。

- 1 調理中はコンロから離れない
- 2 寝たばこは絶対にしない
- 3 ストープの周りには物を置かない
- 4 家の周りを整理整頓する
- 5 ライターやマッチを子供の手の届かないところに置く
- 6 コンセントの掃除を心掛ける
- 7 住宅用火災報知器の設置
- 8 寝具・カーテンなどは防災用品にする
- 9 消火器を設置し使い方を覚える
- 10 ご近所同士で声をかけあい、火の用心に心がける

「品川区わが家の防災ハンドブック抜粋」